

オンラインでも一体感を感じられる “研修”での効果的な使い方とは

MAXHUB

導入拠点 : 研修会館 (8台)
企業名 : 某金融機関
業種 : 銀行業
利用シーン : 社内研修



導入前の課題

- » オンライン研修では会場の雰囲気が伝わりにくく、参加者のモチベーションをあげることが難しかった。



導入後の変化

- » カメラによって会議室全体の様子が見えるので、参加方法 (対面・ウェブ) が違っていても一体感を感じられるようになった。
- » MAXHUB本体の反応が良く、外部講師が利用する際も使いやすいと好評!



オンライン研修の難しさを実感

現在、社内研修でMAXHUBを活用している某金融企業様。昨年、研修会館のリフォームが行われました。リフォームでは研修室に大型モニターの導入を予定しており、機器の検討が行われていました。機器選定も大詰めになった頃はコロナ禍真っ只中。これまで全国各地から社員を集め、東京にある研修会館にて対面で実施していた研修はオンラインでの研修へと切り替えを迎えたタイミングでした。

オンライン研修は講師と参加者とのコミュニケーションが難しく、画面は講義資料が投影されるばかりで、参加者のモチベーションが下がりつつある。また、講師側も会場の雰囲気や熱量を伝えることが難しく、参加者のモチベーション向上に頭を抱えていたと言います。そのような中、研修室のリフォームを請け負っていた販売店様より紹介されたのが「MAXHUB」。大型モニターを導入する予定が一転、MAXHUB導入に至った理由は以下です。

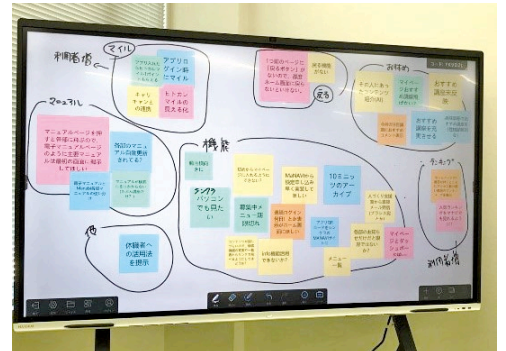
- オンラインでも講師と受講者のコミュニケーションを実現できる機能が満載
- ボードの応答性が非常に良く、他の製品よりも使いやすかった
- 最新機器を使うことで研修受講に対する受講者の意欲が向上した

社員も講師も"皆がいいね!"と好評

MAXHUB導入から現在に至るまで、対面とオンラインのハイブリッドで研修が行われており、MAXHUBは主にウェブ接続の用途で活用していると言います。

徐々に使い慣れていくうちにMAXHUBの機能を活用してコミュニケーションを取ることもチャレンジしていきました。例えば、対面30名、オンライン30名の研修では、投票機能やコメント投稿機能などを使うことで、一体感が生まれ、「楽しく参加できた」「違和感がなくなった」など参加者の声が寄せられています。

また外部講師による研修でも、初めてMAXHUBを使う講師の方が電子ホワイトボードの書き味の良さに驚かれるそう。使い勝手も良く講師にも好評を得ています。



実際の研修風景

研修で有効! 独自の活用方法

MAXHUBを導入してから3ヶ月が経過（取材当時）。研修受講者からの受けもよく有効活用されています。独自の活用方法の一部をご紹介します。

- ▶ 研修が始まる前、付箋機能を使い研修への意気込みや今の気持ちを投稿してもらう
- ▶ ファイル転送機能を使って、お気に入り写真をUPするなど自己紹介で活用
- ▶ 外部研修で撮影した写真をMAXHUBに投影し、振り返り研修で議論
- ▶ 新人研修のアイスブレイクで出身地を投票するなど、コミュニケーションで活用

MAXHUBの魅力とは

ご担当者の方からは以下のコメントをいただきました。

「『研修』の部分だけを切り取るとオンライン開催はコスト削減・時間短縮面で有効ですが、雑談や食事など顔を合わせてコミュニケーションを取ることも研修の一部であるため、対面が重要という考えに変わりはありません。研修での出会いによって新しい繋がりが生まれるからです。

これからの銀行業は『システム』と『人材』が重要。そのための新しい施設研修のカタチを作っていく中で、MAXHUBの活用もその一部として捉えています」

“コミュニケーションボード”とも言われているMAXHUB。

その名の通り、オンラインでのコミュニケーション活性化を実現する手段として、その有効性をユーザー様が実感してくださることに対しての喜びと、もっと多くの方に使ってもらいたい気持ちが高まりました。取材へのご協力、誠にありがとうございました。

販売店: 株式会社ミズホ <https://cs-mizuho.co.jp/>

